

【質問への回答】令和5年度生涯学習関係事業報告書(令和6年3月31日現在)

連番	事業名	内容	令和6年度の 関係課等	令和5年度の 関係課等	令和5年度の成果 (令和6年3月31日現在)	課題	質問	回答
1	ママ・パパ教室 (年数不明)	赤ちゃんを産み育てていくための準備・沐浴体験を行います。	こども家庭保健課	中央保健センター	令和6年3月末までに計画通り計16回実施し、妊婦やその家族に、妊娠・出産・子育てに必要な知識の普及や情報提供を行うことができました。	特になし	<p>①「年数不明」とあるが、おおよそ何年前から実施されているか。</p> <p>②計16回開催の参加者数(総計)を知りたい。</p> <p>③参加者の市内4地区(久喜・菖蒲・鷺宮・栗橋)ごとの内訳もあわせて記入をお願いします。</p> <p>④成果としてすべて順調に計画どおり実施できたと自己評価(Aランク)しておられるが、受講者(妊婦、その家族)からの反応、コメントなどアンケート等から知りたい。</p> <p>⑤各日のプログラムの「タイムテーブル」は。</p> <p>⑥課題欄に「特になし」と記入されているが、本事業を継続する上で「問題点」、「改善点」、「工夫点」等が出てくると思います。</p> <p>たとえば、 ・参加者数アップのための方法は。 ・ニーズの掘り起こし。 ・中央保健センター(久喜)だけでなく、他の3地区センター(菖蒲、鷺宮、栗橋)においても実施する考えはないでしょうか。</p>	<p>①合併前から各市町開催でしていたことのほか、開始年度についてはわかりませんでした。</p> <p>②妊婦124人・夫119人 総計243人</p> <p>③久喜:117人 菖蒲:12人 栗橋:57人 鷺宮:56人 市外:1人 ※市外1名は、市外在住の夫が参加したものの。</p> <p>④受講者アンケートの満足度を尋ねる項目「本日のママ・パパ教室の内容はいかがでしたか？」に9割以上の方から「満足」または「やや満足」と回答いただきました。また、次の感想が寄せられました。 ・抱き方や沐浴を実際にやってみてイメージができ、良かったです。 ・妊婦の辛さや大変さを実感してもらえる機会が良かったです。沐浴もなれるまでは時間がかかりそうですが、協力し合ってやっていきたいと思います。 ・妊婦体験もできたので、妻の大変さがよくわかりました。</p> <p>⑤令和5年度ママ・パパ教室 9:30~11:30(2時間) おおよその時間の目安として ・オリエンテーション(約5分) ・沐浴実習(約60分) ・市の子育て支援サービスの紹介(約15分) ・妊婦体験(約15分) ・アンケート記入していただき終了 ※間に、休憩(会場の移動)10分×2回</p> <p>⑥出産を迎える方々が、妊娠・出産・子育てに関する不安が軽減し、知識や技術が得られるよう事業内容を工夫する必要があります。また、多くの方に参加していただけるよう周知方法を工夫する必要があります。</p>
7	遊びの広場、ふれあい遊び、園庭開放 (久支セ:16年目) (栗支セ:18年目) (鷺支セ:12年目)	子どもたちが安全に楽しく遊びながら、健全に成長できる場を提供します。	子育て支援課	各地域子育て支援センター	<p>【久支セ】令和5年度は244日開所し、遊びの広場・ふれあい遊びは、延べ4,485人が参加しました。園庭開放は17回実施し、延べ54人が利用しました。</p> <p>【栗支セ】令和5年度は243日開所し、遊びの広場・ふれあい遊びは、延べ6,786人が参加しました。園庭開放は4月5月10月に6回実施し、延べ60人が利用しました。</p> <p>【鷺支セ】令和5年度4月は224日開所し、遊びの広場・ふれあい遊びは、延べ10,336人が参加しました。園庭開放は毎日実施し(雨天・熱中症警戒アラート発表時を除く)、延べ3,070人が利用しました。</p>	施設周辺の立地環境に応じて、市内全域や市外の方等に幅広く利用されるためのアプローチや周知方法を検討する必要があります。	「菖蒲地区子育て支援センター」のデータが記載されていない。もともと、菖蒲地区にはこの施設がなかったでしょうか。	以前から菖蒲地区に公立の子育て支援センターはございません。

【質問への回答】令和5年度生涯学習関係事業報告書(令和6年3月31日現在)

連番	事業名	内容	令和6年度の 関係課等	令和5年度の 関係課等	令和5年度の成果 (令和6年3月31日現在)	課題	質問	回答
15	中学生学力 アップ教育推 進事業 (8年目)	中学生の学習 習慣の確立や 学力の定着を 図るため、放 課後の学習を 支援します。	指導課	指導課	令和5年度は、市内全体で301名の 中学生が参加しており令和4年度よ り8名多くなっています。学校ごと に年間30回を予定し、滞りなく実施 できました。	国や県の補助金を活用 し実施をしていますが、 毎年減額されていま す。今後も減額が予想 されることから、事業規 模の縮小も検討する必 要があります。	指導体制を教えてください。(どの様な指 導者が、どの様な施設で、稼働拠点数)	元教員等指導経験者、または教員を目指す現役大学生を支援員 として委嘱し、合計51人を市内中学校10校に配置しています。 配置支援員数 久喜中学校 5人 久喜南中学校 6人 久喜東中学校 5人 太東中学校 6人 菖蒲中学校 6人 栗橋東中学校 4人 栗橋西中学校 5人 鷲宮中学校 5人 鷲宮東中学校 6人 鷲宮西中学校 3人
17	Googleジュニ アICTリーダー 育成講座 (2年目)	Googleスライ ドを活用した プレゼンテー ションの仕方 や、Googleサ イトを活用した 市の魅力発信 の方法等につ いて学ぶ機会 を提供しま す。	指導課	指導課	令和5年度は7月23日(日)及び、11 月25日(土)に実施し、小学生48名、 中学生22名、合計70名が参加しま した。当日はGoogle認定トレーナー 講師の指導のもと、参加者はプレゼ ンテーションのコツやプレゼンテー ション資料作成のポイント、Google サイトを活用した情報発信の仕方及 びインターネットリテラシーについて 学び、各校のジュニアICTリーダーと して認定を受けました。	令和5年度で2年目とな る本事業ですが、一過 的なもので終わらせる ことなく、今後も継続す ることでジュニアICT リーダーの数の更なる 拡大を図り、市内小・中 学生に情報発信の仕方 やインターネットリテラ シーを学ぶ機会を提供 しつづけていく必要があ ります。	持続的な実施とフォローアップに向けた取 り組み、構想をご紹介ください。	目標として「ChromebookとGoogle各種ツールの活用を通し、テクノ ロジーの善き担い手と、well-beingに満ちた地域創生に向け、久喜 市の魅力を発信します。 具体的には、 ①学校内では、子どもたちの先頭に立つICT活用のリーダーとして 使い方を指南。 ②地域の魅力をGoogle社のバックアップのもと、ICT手段を利用し て発信していく、いわゆる観光大使的な役割を担います。

【質問への回答】令和5年度生涯学習関係事業報告書(令和6年3月31日現在)

連番	事業名	内容	令和6年度の 関係課等	令和5年度の 関係課等	令和5年度の成果 (令和6年3月31日現在)	課題	質問	回答
19	子ども大学くき (12年目)	高等教育機関、久喜青年会議所と連携を図り、子どもの知的好奇心を満足させる学びの機会を提供します。	生涯学習課	生涯学習課	令和5年度は、定員60人に対して59人の参加があり、次のとおり実施しました。 参加者数59人 (内訳 4年生:22人 5年生:24人 6年生:12人) ・1日目 日程:8月27日(日) 会場:平成国際大学 実施内容:「入学式」「ダンスワークショップ～からだで遊ぼう～」 ・2日目 日程:9月10日(日) 会場:平成国際大学 実施内容:「ウクライナってどんな国?」「われらHIU(エイチ アイユー)探検隊!」 ・3日目 日程:9月24日(日) 会場:鷺宮総合支所5階 生涯学習施設「まなびすポット」 実施内容:「避難所生活を体験しよう!!」 ・4日目 日程:10月1日(日) 会場:鷺宮総合支所5階 生涯学習施設「まなびすポット」 実施内容:「おはしチャレンジ」「修了式」	子どもの知的好奇心を刺激する、より多くのカリキュラムを実施していく必要があります。また、他の高等教育機関との連携を検討していく必要があります。	指導体制を教えてください。 「より多くのカリキュラム」の実現に向けた検討状況、特に国の重点政策にあがる理系・IT・グリーン分野に向けた、取組み、構想があれば教えてください。	子ども大学くきは、子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供することを目的に、久喜市、平成国際大学、久喜青年会議所で実行委員会を組織し、企画、運営をしています。そのため、実施する講義では、久喜市、平成国際大学、久喜青年会議所の関係者に講師やスタッフとして協力していただいています。 令和5年度では1日目は大学准教授、2日目は大学教授、3日目は久喜市消防防災課職員、4日目は久喜青年会議所スタッフに講師を務めていただきました。 カリキュラムは国の重点政策を重視したものではありませんが、より多くの子どもたちの知的好奇心を満足させる学びを提供できるようカリキュラムの選定について実行委員会で検討してまいります。
24	市民大学(まなびすとカレッジ)・大学院 (29年目)	市民の生涯学習やボランティア活動への理解を深め、地域コミュニティづくりやまちづくりの担い手及び指導者・リーダーとなる人材の育成を図ります。	生涯学習課	生涯学習課	令和5年度は4月15日(土)に入学式・始業式を実施しました。1年生30講座、2年生20講座の他、講座以外の特別活動は、予定どおりの進捗状況でした。学生の講座への出席率は1年生89.1%、2年生86.5%と高い傾向にあり、意欲を感じることができました。また、令和5年度の卒業生数・終了者数は次のとおりです。 ・1学年:11人 ・2学年:10人 ・大学院生:5人	更なる学習の充実に向けて、学生の意見を取り入れ、講座の再編を検討していく必要があります。	指導体制を教えてください。	【市民大学】 教職経験者を社会教育指導員として1名配置しています。実際の講義はまた別に依頼しており、市職員や大学講師等をお願いをしています。 【大学院】 市民大学と同様の社会教育指導員が1人おります。ゼミナール担当教授として、大学講師等に依頼しています。院生と教授の日程を合わせ、約月1回の頻度で学習をしています。それ以外は、院生自身の研究学習としています。
25	子育て講座 (年数不明)	小学校入学を控えた子どもを持つ保護者が抱えている不安や悩みなどを解消するために、保護者同士の交流を支援します。	生涯学習課	生涯学習課	令和5年度は、埼玉県家庭教育アドバイザーを講師として、10月に市内全小学校で実施しました。11月には、埼玉県家庭教育アドバイザー同士で子育て講座反省会を開催しアドバイザーとしてのスキル向上に努めました。	埼玉県家庭教育アドバイザーの人材不足が課題です。	①久喜市内担当の「家庭教育アドバイザー」の合計数は。 ②令和5年10月開催日数、全小学校での参加者数(合計数)は。 ③課題として「人材不足」をあげておられるが、どのような人がアドバイザーとなり、報酬は。	①23名 ②開催日数20日間、参加者数1,005人 ③県が実施する家庭教育アドバイザー養成研修を終了し、人材登録をした方が家庭教育アドバイザーとなります。報酬は、1講座につき、2,500円です。

【質問への回答】令和5年度生涯学習関係事業報告書(令和6年3月31日現在)

連番	事業名	内容	令和6年度の 関係課等	令和5年度の 関係課等	令和5年度の成果 (令和6年3月31日現在)	課題	質問	回答
26	家庭教育学級 (年数不明)	子育ての悩みや親子の関わり方等について保護者同士で学ぶ機会を支援します。	生涯学習課	生涯学習課	17の団体で本事業が実施されました。内容は、各団体が子の年齢に合わせたものを計画しており、子や保護者の交流の場となりました。	補助金事務をわかりやすく示す必要があります。	①17の団体が本事業を実施してきたとありますが、団体名を具体的にあげていただければ。またこの事業はどのように運営されていますか。 ②「補助金事務」をわかりやすく示すことが課題となっていますが、具体的に補助金(年間)はいくらで、どのようなことが問題となっていますか？	①太田小学校PTA、清久小学校PTA、青毛小学校PTA、江面小学校PTA、栢間小学校PTA、桜田小学校PTA、砂原小学校PTA、久喜中学校PTA、久喜南中学校PTA、なずなの森保育園父母会、鷺宮保育園保護者会、鷺宮第二保育園保護者会、東鷺宮保育園保護者会、中央幼稚園PTA、栗橋幼稚園PTA、あけぼの東幼稚園父母の会、鷺宮幼稚園父母の会、以上17団体です。 また、こちらの事業は、PTAや保護者が家庭教育に関する学習や交流の場を設けることを目的に企画した事業に対し、補助金を交付する事業です。 ②令和5年度は、計288,500円の補助金を交付しました。補助金に関わる事務手続きがわかりにくいということで、事業の実施を迷う団体がいました。団体に事務手続きを理解していただき、事業実施団体を増やしていきます。
27	埼玉県家庭教育アドバイザー、ネットアドバイザーの活用 (2年目)	久喜市在住の埼玉県家庭教育アドバイザー、ネットアドバイザーに協力いただき、保護者向けに、子育てやインターネットトラブルに関する悩み等の学びの機会を提供します。	生涯学習課	生涯学習課	令和6年3月9日に、埼玉県家庭教育アドバイザー・ネットアドバイザーが所属する久喜市家庭教育支援チーム「ほっとほーむ」により、「子育てひろば」を実施し、子育てに関して情報交換や相談会を行い、家庭教育を支援しました。(参加者 大人21名、子ども31名、合計52名)	埼玉県ネットアドバイザーの人材不足が課題です。	①埼玉県ネットアドバイザーの人材不足が課題とあります。どのような方が、このネットアドバイザーになっておられますか。報酬はありますか。 ②人材発掘に関するお取り組みがあればご紹介ください。	①県が実施する養成講座を修了した方を「埼玉県ネットアドバイザー」として認定しています。県内に85名(久喜市内5名)います。報酬は、講座1回につき5,000円です。 ②久喜市家庭教育支援チーム「ほっとほーむ」の事業の参加者にアドバイザーのご案内をしています。
34	高齢者大学 (スマイルキャンパス) (45年目)	実生活に即した教養の向上を図り、趣味活動や社会参加による生きがいを充実させるための講座を充実します。	生涯学習課	生涯学習課	令和5年度は4月12日(水)に入学式・始業式を実施しました。令和6年3月31日現在、学生数は1年生44名、2年生39名、3年生26名、4年生43名です。講座や学校行事は予定どおり実施できました。学生の講座への出席率は、1年生83.3%、2年生81.2%、3年生83.9%、4年生84.4%と高い傾向にあり、意欲を感じることができました。また、多くの学生が生涯学習施設「まなびすポット」を使用しています。	学生の負担を考慮し、学校行事の実施数を検討していく必要があります。入学者数が減少傾向にあるため、市民への周知方法を検討し、学生数の増加につなげていく必要があります。	指導体制を教えてください。子ども大学・市民大学との交流連携の試みや構想があればご紹介ください(入学者減について他県自治体で、雑談ベースですが、「高齢者大学の名称が心理的障壁ではないか」との意見がありました)。	教職経験者を社会教育指導員として2名配置し、講義や現地研修の企画や学生、外部講師との調整を行っています。 主な一日の流れとして、歌謡・民謡の指導、講義、ホームルームを行っています。歌謡・民謡の指導、講義については、大学講師や教職経験者などの有識者に外部講師を依頼しています。 子ども大学、市民大学、高齢者大学との直接的な交流はありませんが、市大生には、高大への入学を、高大生には市大への入学を案内する、市大生、高大生には、放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ)サポーターの案内をするなど、相互交流を図っています。

【質問への回答】令和5年度生涯学習関係事業報告書(令和6年3月31日現在)

連番	事業名	内容	令和6年度の 関係課等	令和5年度の 関係課等	令和5年度の成果 (令和6年3月31日現在)	課題	質問	回答
97	市民まつり (37年目)	市民まつりでの学習活動の成果発表と生涯学習活動への誘いの場を提供します。	商工観光課	久喜ブランド推進課	令和5年度は、「笑顔でつなぐ 市民のまつり」をテーマに、令和5年10月15日(日)に開催されました。会場は、久喜駅前西口広場、20M道路、提燈祭り通り(一部)、久喜中央コミュニティセンター前でした。当日は、約42,000人の方が来場されました。	主催の市民まつりの会の後継者不足が懸念されます。	「市民まつりの会」が本年4月に解散した後、37年の歴史ある「市民まつり」は、これからどのように運営されるかを知りたい。	令和6年4月20日開催の「久喜市民まつりの会」臨時総会において、同会の解散が承認されたことから、長年開催されてきた市民まつりに幕が下ろされたものです。このような中、引き続き「商工業の振興」を図るとともに、スポーツの推進及び健康の増進を図るため、商工団体、スポーツ団体等と新たなイベントの実施を計画しているところです。具体的な内容は、今後設置予定の実行委員会において検討していく予定です。
161	地域住民と大学生の交流の促進 (年数不明)	地域の活性化を目指し、地域の行事に学生が参加しやすい場を設け、地域住民と大学生との交流を促進します。	生涯学習課	生涯学習課	放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ)にて運営に携わるサポーターを、大学生や地域住民を対象に募集しました。大学生と地域住民との交流を促進することができました。	放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ)のような、大学生と地域住民が交流できる場を、さらに多く設ける必要があります。	成果として、「ゆうゆうプラザにて運営に携わるサポーターを大学生や地域住民を対象に募集」とありますが、大学に直接オファーしたのか、どこの大学で、職員のどなたかがその大学と関りを持っていたのか、参加した大学生は何人で、どこの地域出身なのか、詳細を教えてください。	ホームページやチラシ等で大学生に限らず広く募集しており、特定の大学について募集を依頼したものではありません。令和5年度の実績としては、くきっ子に1名、さくらっ子に2名の大学生がサポーターとして協力いただけただけことを実行委員から伺っていますが、出身地域などの詳細は把握しておりません。

【質問への回答】令和5年度生涯学習関係事業報告書(令和6年3月31日現在)

	質問	回答
1	<p>事業報告書6、7ページ連番35から42までを通し、教育成果の地域実装のご構想、取り組みをご紹介ください。(課題意識→職域や学校に敷かれた人権問題に関する日常的な相談体制は、地域には十分に機能していないように感じます。超高齢社会で職域から地域中心の生活環境の変容に向けて対策が必要と思慮)</p>	<p>市では、子どもや家族、人間関係、セクシュアリティに関する事など、様々な悩みや心配ごとについて、人権相談・女性相談を久喜総合文化会館、各行政センターの4会場に開設しています。また、みんなの人権110番、女性の人権ホットライン、子どもの人権110番、外国語人権相談ダイヤル相談やインターネットによる人権相談といった電話やインターネットによる国の相談窓口もあります。地域のどなたでも相談できる各種相談窓口を活用していただくよう、広報やホームページ等により、広く周知しています。</p>
2	<p>事業報告書15、16ページ掲載事業全般を通し、人材発掘に関する取り組み、人材活躍に関する取り組みがあればご紹介ください。</p>	<p>事業運営に関わる人材については、事業に関わる企業・団体などから、協力いただける人材を紹介いただいています。また、本人の同意の下、関係団体や関係課に紹介することがあります。</p>
3	<p>事業報告書17、18ページ掲載事業全般を通し、学習成果の発表、共有でJ:COM久喜のコミュニティチャンネルで取り上げられる頻度をご紹介ください。 行政と地域メディア(例えばCATV)との連携のお取り組みやご構想があればご紹介ください。</p>	<p>報道件数についてJ:COM久喜に問い合わせをしましたが、6月17日時点で回答をいただけていないため、取材・報道頻度については不明です。 ケーブルテレビについては、市民大学や人材バンクの公開講座、まなびすと久喜について取材実績があります。</p>
4	<p>市民ニーズとのマッチングに向けた広報のお取り組み、ご構想があればご紹介ください(一つ一つがニッチで出会いの入り口が見出しにくいかも)</p>	<p>広報紙やSNS(Facebook、X、Line)、市HPが主な広報手段です。また、市内小学4年生から6年生を対象とする子ども大学のように、対象者が明らかである場合には、学校を通じてチラシを配布するなど、より効果的な周知を行うように努めています。</p>
5	<p>梅田市長がJC時代から掲げる「オタクに優しい街づくり」との理念的な関わりがあれば教えてください</p>	<p>「生涯スポーツのまち・久喜市」としてよろこびのまち久喜マラソン大会を企画するほか、「音楽の街・久喜市」として吹奏楽フェスティバルや街かどコンサートなどの文化・芸術に親しむことができる機会創出に取り組んでいます。</p>